

物流部門における環境負荷の軽減

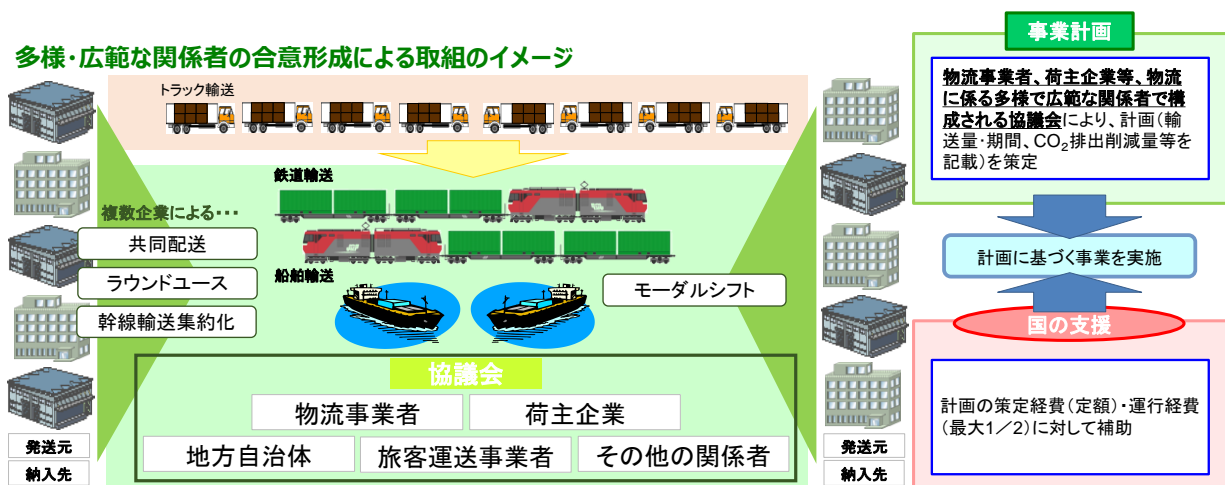
モーダルシフトの推進

■モーダルシフト等推進事業（補助事業）

【継続】交通政策部

CO₂排出原単位の小さい輸送手段である鉄道輸送や、海上輸送への転換を図るモーダルシフト等を推進するため、物流事業者、荷主企業など物流に係る多様で広範な関係者によって構成される協議会の立ち上げ及び物流の効率化に向けたモーダルシフト等に関する計画策定経費や当該計画に基づく運行経費の一部支援を行います。

温室効果ガスの削減による地球温暖化防止及び低炭素型物流体系の構築や物流の効率化を推進するため取り組みを強化します。



【27年度実績】

全国で20件（中国運輸局では2件）の応募があり、外部有識者からなるモーダルシフト等推進事業評価委員会の意見を踏まえた結果、12件が認定され、中国運輸局からはトラック輸送から鉄道輸送、海上輸送へ転換を図る計画が1件認定されました。

【27年度実績に対する評価】

事業開始当初は認定された計画輸送量を下回りましたが、その後順調にモーダルシフトが進み、補助対象期間中391.1トンのCO₂が削減され、現在も継続的に事業が行われています。

今後も労働力不足対策や物流生産性向上に資するモーダルシフト等推進事業について引き続き取り組んでいく必要があります。

【28年度施策】

モーダルシフト、トラック幹線輸送の集約化、地域内集配の共同化に関する計画の策定経費やその計画に基づく運行経費の一部を補助します。

モーダルシフトについては、前述の改正物効法において初めて法律上に位置づけられました。物流のモードを超えた最適で効率的な輸送を取り組む体制を進めていきます。

物流部門における環境負荷の軽減

モーダルシフトの推進

■モーダルシフトの推進（見学会・環境省連携補助事業）

【継続】交通政策部

モーダルシフトを促進するために、その他にも様々な取組を行っています。

【27 年度実績】

平成 28 年 2 月 22 日、荷主企業や物流事業者等を対象として「鉄道コンテナ見学会」を開催しました。

本見学会は、CO₂削減のみならず、物流分野における深刻な労働力不足対策にも貢献する「モーダルシフト」において鉄道輸送に焦点をあてたものです。

モーダルシフト等に係る国の支援制度を積極的に活用して頂くために説明会を実施するとともに新南陽駅において化学薬品を運ぶ ISO 規格タンクコンテナや、一般的な 12 フィートコンテナの荷役作業を見学した後、実際に使用されている様々な鉄道コンテナを間近で見学しました。



【ISO タンクコンテナ荷役作業】

【27 年度実績に対する評価】

「鉄道コンテナ見学会」には、物流事業者や荷主企業など 22 名の参加があり、参加者からのアンケートでも「労働不足の問題を抱えている」という声が多数寄せられるなどモーダルシフトや鉄道輸送に対する関心の高さがうかがえました。また、見学会への参加を通して物流コストや CO₂削減に関する理解をより一層深めて頂きました。

今後も引き続き、モーダルシフトの更なる促進に向けた取組みを図ります。

【28 年度施策】

環境省と連携して実施する「物流分野における CO₂削減対策促進事業」により、貨物鉄道や内航海運の輸送力を有効活用するためモーダルシフトに資する設備・機器の導入経費や、鉄道コンテナは 12 フィートコンテナが主流ですが、中長距離の幹線輸送分野で主力となっている 10 tトラックと同等の積載能力を持つ鉄道輸送用 31 フィートコンテナなどの大型コンテナの導入経費の一部補助をしております。

環境対策やドライバー不足対策にも貢献するモーダルシフトについて、今後も PR に努めます。